

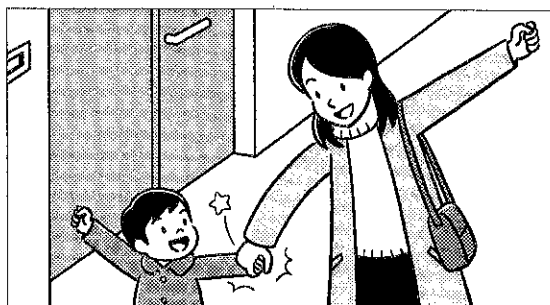


3月になりました。今年度も最後の月です。春休みが迫れば、年少・年中さんは進級、年長さんは新入学と、新生活に期待が高まっていることでしょう。ここでもう一度、道を歩く時の約束を再確認して、新しい日々も安全に送れるようにしましょう。

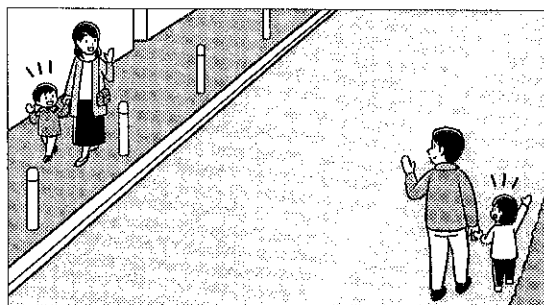


進級・卒園に向けて安全に歩くための約束を再確認しましょう

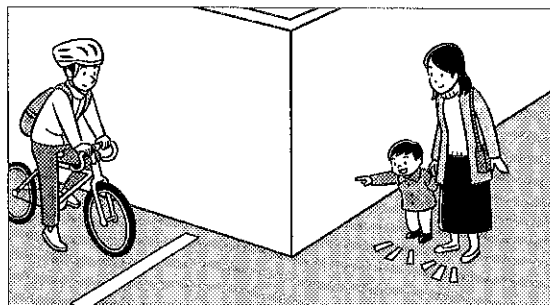
しっかり おぼえて いるかな？ あんぜんにあるくための やくそく



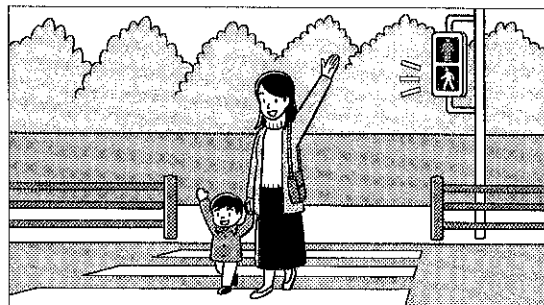
あるくときは おうちの おとなのひとと てをつなぐ。



ほどうを あるく。ほどうの ないみちでは はしに よって あるく。



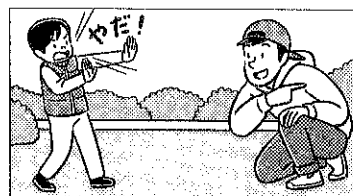
まがりかどでは てまえて とまりあんぜんを かくにんして すすむ。



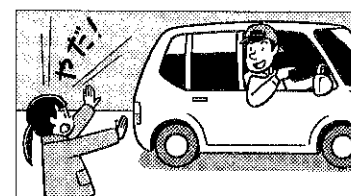
おうだんほどうは あおしんごうで てを たかく あげて わたる。

保護者の方へ 繰り返しお伝えしていることですが、安全な生活を送るための基本は、道を歩く時の約束を身につけ、しっかり守ることです。子どもたちに言葉で伝えるだけでなく、保護者の皆様が実践し、手本となる姿を見せましょう。また、小学生になると、子どもだけで行動する機会が増えます。「いかのおすし」の合い言葉など、いざというときに身を守るための方法も伝えておきましょう。

いちねんせいになるまえに「いかのおすし」をおぼえよう



しらない ひとには ついて いかない。



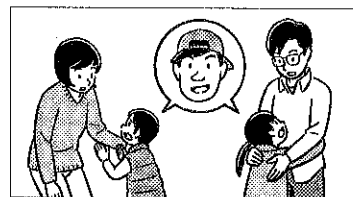
しらない ひとの くるまに のらない。



おおきな こえで たすけを よぶ。



こわい ときには すぐに にげる。



しょうがくせいになるとこどもだけで かけることが おおくなるよ。

いえのひとや がっこうのせんせいに しらせる。

しっかりと きをつけて あんぜんに すごそうね。